



# くさばな しんぶん

2020年11月号

2020（令和2）年

11月4日発行

通算第294号

## 《三橋先生 ありがとうございます》

すでにお知らせしたところですが、三橋武夫先生が10月末日をもって退職しました。  
三橋先生は、平成23年10月1日より勤務を開始、以来9年1ヵ月にわたり園バスの安全運行に全神経を集中して勤務していただきました。バスの運転は、園児や保護者のみなさまとの交流があってその限りでは楽しいものです。しかし、私もピンチヒッターで運転することがありますが、安全に運転すること自体疲れるものです。その上、バスコースには狭い道路も多くとても神経を使います。さらに天候も、雨の日、風の日、雪の日、台風の日などなど、悪い条件に見舞われることも多くあります。そして自身の健康管理です。体調不良では安全運転はできません。晩酌のお酒にも慎重であったとか。

それでも、本当はこの仕事を続ける希望であったとのこと。しかしこれまでも時々出てくる腰痛に悩み、これまでは何とか凌いで来たのですが、このたび発生した痛みがなかなか消えず退職の決断に至ったようです。

先生は、仕事がかっちりしており、何ごとに限らず仕事の記録もしっかり管理していました。園庭芝生の手入れも入念でした。本来ならば、園児のみなさんとお別れのセレモニーをするところですが、時機を見てのこととせざるをえませんでした。

長い間ほんとうにありがとうございました。

## 《杉本先生 おめでとございます》

当園主任の杉本和美先生が、このたび、全日本私立幼稚園連合会から勤続20年の表彰を受け、賞状と記念品としてフレーベルのレリーフを贈られました。当園では4人目の受表彰になります。

杉本先生は、学校を卒業後、新人として当園の教諭として就任しました。まだ学生さんとして面接で来園した時のことが、つい昨日のことのように思い出されます。やがて結婚の後、子育てのためいったん退職しましたが、お二人のお子さんの子育てが一段落のち、当園の「にじ組」の発足にあわせて復帰、昨年度までにじ組の担任として力を発揮してきました。暖かな人柄で、これからも主任教諭として、また担任としての活躍を期待しています。

理事長 山城 清邦

## 《運動会 ありがとうございます》

10月24日の運動会は、新型コロナウイルスの感染拡大予防の措置を取りながらの開催となり、おさまはもちろん、参観いただく方にも検温や手指消毒へのご協力をいただきましたが、皆さまのご協力により、運動会から10日余りたちましたが未だ感染等の報告はなく、安堵しております。保護者の皆さまのご協力の下、無事に終えることができましたこと、感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

今年度の運動会は、学年ごとでの開催となりましたので、今月は、各学年の運動会の様子をお知らせします。

### 《第1部 もり組》

入場行進、開会式では、おさまたちの表情が硬く、緊張している様子が伝わりました。それでもかけこぎが始まると、一人ひとりの呼名に大きな声で『ハイ！』と返事ができ、前を向きしっかり走ることができました。そこで緊張が解けたのか、最後の遊戯では、笑顔でポーズを決めたり、元気に手を振り行進したりといつもと以上に伸び伸びと動くことができていました。閉会式での表情が、朝とは全く違いやり遂げた達成感と安堵で笑顔になっていたのが印象的でした。

### 《第2部 かわ組》

幼稚園初めての運動会。これまでの練習や予行とは違った雰囲気戸惑うおさまも、逆に張り切って参加するおさまなど様々な姿が見られました。かけこぎでは、練習通りにまっすぐ走れることを頑張っていました。クラスのお遊戯は、どちらのクラスも園庭いっぱいになり伸び伸びと動いていました。追いかけて玉入れも自分のチームのかごに玉を入れることや、始めと終わりの合図をよく聞き動くことができていました。終わる頃には少しお疲れの表情も見られましたが、最後まで頑張りました。

### 《第3部 やま組》

幼稚園生活最後の運動会。この日に向けて万国旗を作ったり、入場の旗を作ったりと準備から頑張ってきました。当日は初めに入場行進でしっかり手を振り行進する姿から始まり、競技では、ルールを守ることに併せ、集める玉の大きさで点数が違うことも考えながら動いていて、おさまたちの一生懸命な姿が印象的でした。遊戯ではかわ、もり組にはない隊形移動もあり、曲に合わせて身体を動かしながら自分の場所に動くことができたり、最後に『ヤー！』と大きな声で掛け声をかけたりおさま一人ひとりの力強い動きに感動しました。そして最後の紅白リレーでは、おさまたちの真剣に走るその表情にこの3年間の成長を感じることができました。そして閉会式では恒例の花丸を作りましたが、おさまのリクエストにより20個の丸と花を作りました。その時には最後までやり遂げた達成感と緊張が解けホッとした表情が入り混じっていたおさまたちでした。

このように学年ごとにおさまの成長を感じることができた運動会となりました。今回の運動会では、大きな声援ではなく大きな拍手での応援をお願いしましたが、おさまたちの頑張る姿を目の前になるとつい声を出して応援してしまいました。きっとお家の方々も同じ気持ちでいたのではないのでしょうか？来年度の運動会は、大きな声で応援ができることを願わずにはいられません。

しかしながらまだまだ情勢は厳しく、引き続き新型コロナウイルスの対策等を行いながらの保育活動となります。今後も保護者の皆さまのご理解、ご協力をいただきながらおさまの成長をお手伝いしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

園長 影山幸江



《保護者の皆さまへ》

三橋 武夫

私事ですが、一身上の事情で10月末をもちまして幼稚園を退職しました。

9年間の在職中は、皆さま方大変お世話になり感謝申し上げます。また、退職の機には競別や記念品をいただき、ありがとうございました。幼稚園の良き思い出として大切にします。

今後は、今までできなかった妻との旅行や、自分の趣味を楽しみたいと思っています。

まだまだ終息しないコロナ禍ではありますが、ご家族の皆さまの健康をお祈りしています。コロナの終息が見えてきましたら、また幼稚園の行事にも顔を出したいと思います。その節は、よろしくお願いたします。

ありがとうございました。

昔業をともにしたバスを背景に  
(10月30日)

## 私のおすすめの絵本

(この欄は教職員が交代で担当します)

『はじめてのおつかい』 福音館書店 筒井頼子 作 林明子 絵



こどものころ母に買ってもらった絵本の一つです。一人で  
おつかいに行く5歳の女の子の姿を、自分と重ね合わせたの  
か、転んでひざが赤くなるところ、お金を落としてしまう場面  
に、胸がぎゅーとなりながらも、何度も何度も読んだのを覚  
えています。

この絵本の紹介の時に、またこの絵本のことを久しぶりに思い出しました。娘はもう5歳をすぎたけれど、おつかいに行かせたことはありません。この絵本と一緒に読んで、感想を聞き、おつかいに挑戦してもらおうかな？

井上 尚子